

花 だより

第108号 新春刊



題字／飯島静枝様
(大正15年生 森の家)

2023年(令和5年)1月4日発行

発行 社会福祉法人 恵比寿会
フェローホームズ



仲間の家・森の家・高松の家
フェローホームズデイサービスセンター
フェローホームズヘルプサービス
グループホーム・ヴィラ・フェローホームズ
フェローホームズアフタースクール
森の子ナーサリー(企業主導型保育所)
042-523-7601
フェローホームズ富士見相談センター
042-526-1353
羽衣地域福祉サービスセンター
フェローホームズ羽衣相談センター
立川市南部東はごろも地域包括支援センター
042-523-5612
森の子ども園 042-538-0729
しばさきのいえ子育てひろば 042-512-7704
立川市柏第四学童保育所 042-537-8555
立川市高松第三学童保育所 042-512-9703
立川市砂川七番学童保育所 042-537-7550
立川市柴崎第二学童保育所 042-512-8202

新年明けまして

おめでとごございます。

皆様には、新春を健やかに

迎えられたことと、

お慶び申し上げます。

こども園スタート！

2022年4月に幼保連携型認定こども園としてスタートした「森の子こども園」は、初の園児を受け入れました。子ども達は笑顔いっぱい成長しています。職員も保育教諭として子ども達の成長のためにしっかりと取り組んでいます。

園の特徴の一つであるモンテッソーリ教育では、一般社団法人東京国際モンテッソーリ教

師トレーニングセンターの代表である三浦勢津子先生にご指導いただくとともに、モンテッソーリ教師の国際資格を取得する実習園に指定していただき、実習生の受け入れをしておりま

す。紛争や政情不安など、予測不可能で先が見えない時代になりました。これからは読み書きそろばんのような一つの解を求める認知能力だけでなく、非認知能力と呼ばれるコミュニケーション能力、やり遂げる力、自己肯定感、創造力などの目に見えない力を身に付ける教育が必要になってきています。この力は子ども達が集まって

遊ぶ中で、相手を気遣い、互いの気持ちを想像することや、五感を通じたよい体験の中から培われます。森の子こども園の広い園庭や、豊かに生い茂った草木、よりよい学びの環境が、豊かな未来をつくる助けになるものと信じております。

多様性と包括性のある 職場づくりを大切に

恵比寿会の富士見町エリアでは0歳から100歳を超える方がサービスを利用し、生活されています。また働いているスタッフの国籍も6ヶ国(インドネシア、ウクライナ、カンボジア、ネパール、ベトナム、日本)と

多国籍です。多様な背景を持つ人達が協力して、恵比寿会でし
かできないサービスを提供し、
利用される方に喜んでいただけ
るように日々活動しています。
これからは、コロナ感染症下の
命を守るだけの活動から、潤い
のある生活へ再構築していかな
くてはなりません。私たちの
サービスが地域の包容力や寛容
力となるのではないかと思っ
ております。人は人と関わるだけ
で健康になり、助け合うよう
になります。社会的なつながり
を持たない人は、つながりを持
つ人の2倍早死にし、認知症リス
クは3.6倍になるというデータも
あります。

恵比寿会は、街のまん中にある福祉施設として、地域とともに人と人が繋がっていく街づくりを目指していきます。今年もご支援くださいますようお願いいたします。



2023年元旦
理事長
森山善弘



新型コロナウイルス試された危機管理（リスクマネジメントとリスクコミュニケーション）
施設系事業所での感染拡大から

2022年の新型コロナウイルスの感染拡大は、第6波と第7波の2回ありました。その流行期における施設系事業所内での感染状況等は表1のとおりです。仲間の家（従来型特養）では、第7波で2度、クラスターが発生し、ご利用者とご家族等には、大変ご迷惑とご心配をおかけすることになりました。

新型コロナウイルスに對しての全般的な対策等は、年に4回の感染対策委員会と月に2回の災害対策本部会議で協議を行います。各現場で感染対策現場会議を開催して取り組んでいます。会議等においては、得体のしれない新型コロナウイルスに對して、「何が怖くて、何が怖くないか」「伝えるための情報整理はできてい

るか」「スタッフ一人ひとりの行動変容につながるように、伝えっぱなしにせず、伝わることを確認しているか」などの視点で協議しています。

リスクマネジメントには、①発生した事故等の要因分析と再発防止に取り組むことはもちろんですが、②今後起こりそうなことを未然に防いでいく（万が一事故が起きても最小限にとどめる）視点もあります。新型コロナウイルスでは、②の取り組みが試されました。

新型コロナウイルスの迫ってくる危機等に對して、スタッフ一人ひとりが抱く不安、負の感情等を低減し、流れてくる巷の情報にも混乱せずに、誰もが適切に行動していくために、リスクに對するコミュニケーション（伝達と対話）が求められました。

クラスターを経験して、改めてウイルスを持ち込む可能性はスタッフにもあることを実感し、重症化リスクの高い高齢者への支援に携わっていることへの自覚を、ただ促してこれたのか、また感染拡大に對しての確な対応に根拠を持ってわかりやすく説明できたのかなどと、振り返るところが多くありました。

「安全」は科学的な根拠により取り組まなくてはなりません。周囲の人達のちょっとした声掛けや心遣いで行われます。リスクコミュニケーションは根拠ある伝達と心ある対話の両面で成り立ちます。たとえ感染拡大している中でも、適切な対応とご利用者への配慮ある言葉かけが必要になってきます。

表1 2022年の施設系事業所（サービス提供現場）での感染状況等

| 流行期とその特徴 | ご利用者陽性者数 | 施設内療養者数(延日数) | 施設系スタッフ陽性者数 | 施設内での発生等の状況 |
|--|----------------------------------|---|-------------|---|
| 第6波(1月頃から4月頃) ●無症状者の割合が高く、普通の風邪と見分けが付きにくい。 ●1月21日に、都より「まん延防止等重点措置」が発令。 | 1 | 1 (12日) | 3 | ●スタッフ定期PCR検査で陽性疑い者が出る。 ●スタッフが勤務中に体調不良となるケースが生じてくる。 ●2月に森の家でご利用者1名が陽性となり、入院ができずに12日間施設内療養となる。 |
| 第7波(6月頃から9月頃) ●有症状者の割合が高く、高熱症状を呈し、多種の症状も生じる。 ●6月下旬頃より急激に感染拡大した(感染力が強い)。 | 24 (2階:18) (3階: 6) | 21 (229日) (入院者は 2階:5) (3階: 6) | 20 | ●スタッフの勤務中での体調不良者が増え、定期PCR検査でも多くの陽性疑い者が発生。 ●仲間の家で7/15~8/11(2階)と8/29~9/9(3階)の2度クラスターが発生。2階フロアでは入院できず、多くが施設内療養となる。 ●仲間の家の感染拡大では、他の部署から応援スタッフが入る。 |

※12月15日現在、高松の家でクラスターが発生しています。

たくさんの笑顔に出会えた2022年

フェローホームズ仲間の家
フェローホームズ森の家
フェローホームズ高松の家

2022年を振り返ると仲間の家と高松の家ではクラスタの発生もありましたが、ご利用者には少しでも楽しい時間を過ごしていただきたいと、感染対策を講じながら行事企画を行い、たくさんの笑顔に出会えました。

春

「家族の日」と称し、母の日・父の日イベントを行いました。

ハガキにご家族の思いを綴って頂き、ご利用者にお届けす



るといふ企画です。ご家族の思いが詰まったハガキを皆さん嬉しそうに眺めて、スタッフにご家族との思い出を話してくださる方もいらっしゃいました。

夏

花火大会では、いつもより少しだけ夜更かしをして、手持ち

花火や噴射式花火を楽しみました。薄暗くなった夕暮れに、パチパチと弾ける線香花火に思いをはせる方、手持ち花火を振り回して思いきり楽しまれる方、皆さんのご様子に昔を懐かしんで思い出を話してくださる方、思い出の時間を過ごされました。



秋

秋空の下、紅葉を楽しむお散歩会。「外の景色は日を追うごとに変わっていくから」と心待ちにして下さる声に後押しされ、残堀川の橋の辺りや森の家駐車場まで散歩しました。

落ち葉を拾い集め空中へ投げたり、集めた落ち葉をブーケにしたりと、短い時間でしたが、皆さん秋を堪能されました。紅葉に反射した日の光が顔にあたり、笑顔がますます輝いて見えたのがとても印象的でした。



冬

高松の家ではご利用者の「けんちん汁が食べたい」「麺類が

食べたい」という声を受け、「けんちん汁パーティー」を行

いました。ご利用者にも具材のカットや味見をしていただきました。けんちん汁をうどんにするか、すいとんにするか尋ねると、予想以上に「すいとん」が人気で、「美味しい！」と大好評。たくさんおかわりされていました。特に女性のご利用者に協力を頂き、妻・母として家庭で行っていた食事作りの腕前を存分に発揮して頂いて、心も体も温まる行事となりました。



あたり前だった日常も感染症対策により少しずつ形を変え、ご家族との面会も制限せざるを得ない状況ではあります。毎日をその人らしく楽しんで暮らしていただけるよう、今年もチャレンジしていきたいと思えます。



ご利用者編

フェローホームズ仲間の家

□ジャンクフードが好きなので、ピザが食べたい。

榎澤悦子様 96歳

□あんこが入っている甘いものが食べたい。

並木彌生様 96歳

□なんでも嬉しいけど、野菜が食べたい。

東平さだ様 96歳

□うなぎが食べたい。

井崎悦子様 84歳

□さんまの塩焼き

関 則可様 84歳

□マグロ、いくら、サーモンのお寿司とケーキ

秦 進一様 72歳

フェローホームズ森の家

□ぜんざいが食べたいです。

中原トク様 96歳

フェローホームズ高松の家

□苺のショートケーキが食べたい。

山野井タカ子様 84歳

□あったかいぜんざいが食べたい。

鈴木米子様 84歳

□ステーキが食べたい。

森谷俊明様 72歳

ヴィラ・フェローホームズ

□お酒に合うピリ辛おつまみ

古川千恵子様 84歳

フェローホームズ

デイサービスセンター

□入れたての美味しいコーヒーとケーキ

関口美智子様 84歳

フェローホームズヘルプサービス

□あんこうのとも和え。昔食べて感動的に美味しかったから、また食べたい！

伊藤久男様 72歳

フェローホームズ

富士見相談センター

□目の前で新鮮なネタを握ってもらってお寿司を食べたい。

馬場富己子様 96歳

□「誕生日 冥土の旅の 一里塚 めでたくもあり めでたくもなし」

藤原 了様 96歳

□何を食べてもおいしいんです。毎日おいしく食べられるのが幸せです。

藤原眞貴子様 84歳

□カステラとどら焼きが好きなので食べたい。

小野澤公子様 84歳

□特に食べたい物はないけれど、お魚、サケは好き。昆布巻きもいいですね。

高橋妃佐子様 84歳

□毎年いつも美味しいお寿司をいただいています。

渡部里子様 84歳

□お誕生日にはいつもと違う美味しいお寿司をたくさん食べてみたいと思います。

澤 豊子様 84歳

□特に食べたい物も、欲しい物もないなあ。こだわりはないです。

福嶋義昌様 84歳

□欲しいものは「若さ」それと、世界一周旅行がしたい。

木川雄司様 72歳

羽衣地域福祉サービスセンター

デイサービス

□ケーキが好きです！

小高郁子様 96歳

□甘いものがいい。

阿部澄子様 84歳

□おはぎ。

飯田チエ子様 84歳

□何がいか迷ってしまうわ！

佐藤正子様 84歳

□そりゃあやっぱり、ケーキだよね！

中澤シゲミ様 84歳

□ケーキ。

増岡はぎ乃様 84歳

スタッフ編

□お刺身を食べてみたいです。

アガ

□お寿司、ピザ、ケーキ。

北村光太郎

□チョコとピザがあればいい！

尾崎良輔

□Tボーンステーキ。

柳内伸記

□チーズが乗ってるハンバーグ。

渡邊壮輝

□妻の手作りの餃子。

石井幸雄

□焼肉！特に豚トロ！

野村真之

□ホールチョコケーキ。

徳井 睦

□刺身、特にウニやいくらが好き。

笹沼真幸

□行きつけの店の焼肉と、娘の手作りのケーキ。

高木冬太郎

□から揚げとケーキ！カロリーを気にせず食べたい。

大島玲奈

□角上魚類の握り寿司と北海道産三石の昆布焼酎のお湯割り。

和田恭介

